

金丸忠仁の 行って!見て!聞いて! その1

岩手県花巻市 の視察報告

市役所職員を各区に
担当職員として割り当てる
地域づくり支援職員

H19.9.10



平成十九年八月二十七日（月）、夜行バスで池袋から八時間、二十八日早朝花巻市に着きました。

一km位歩いて市役所まで行き、地域振興課の説明を受け、頂いた地図を頼りに振興センター（小さな市役所）を目指しました。

振興センター（小さな市役所）

基本理念

市民の公共的なサービスに対する要求は多様化しており、画一的な手法によって全域を行うことには限界も見えてきます。

特に、身近な地域課題に対する取り組みは、地域住民自ら考え、行動することによって、よりきめ細かな対応が可能となります。

そのために、地域住民誰もが地域づくりに参画できるシステムを住民自らが作り上げ、身近な地域課題を解決し、地域住民のニーズに応じたきめ細かなまちづくりを行うことを

目的に、小学校及び地区公民館単位を基本に振興センター（小さな市役所）を二十六カ所設置します。

振興センターの役割

- ①地域づくり、「コミニティ活動の拠点
- ②地域住民に身近な生涯学習の拠点
- ③窓口業務（各種証明書の発行）
- ④住民へのネットワークを利用した各所情報の提供・共有

「コミニティ会議の設置

会の実行委員会、地区区長会、防犯協会、自治公民館連絡協議会等）

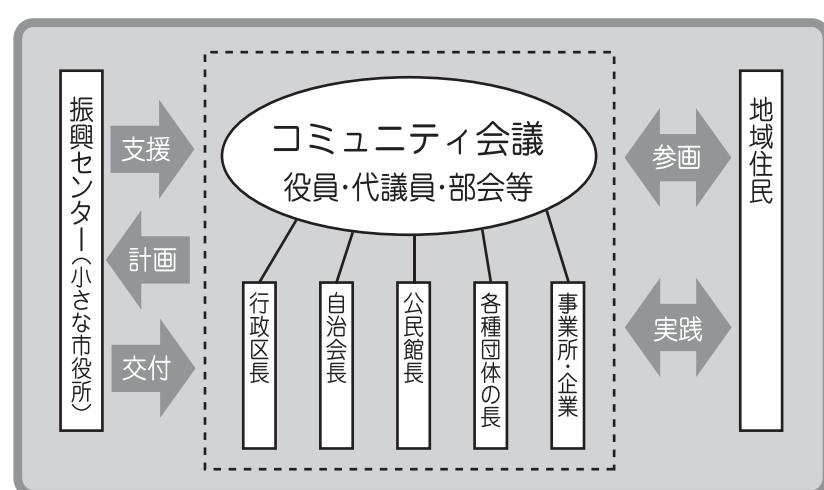
①小さな市役所構想に係る二十六の拠点施設（振興センター）とともに、住み良い地域づくりのための連絡調整や情報提供と実践活動を行うため、住民による「コミニティ会議」を設置します。

②コミニティ会議の主な活動について例示すると次のとおりとなります。

- ・地区的課題把握や解決に向けた事業費等の調整及び事業実施へ
- ・カーブミラーの設置、防犯灯の設置、地区内の環境美化、道路の簡易舗装など
- ・コミニティ会議だよりの発行等による地域住民への広報活動
- ・その他、住み良い地域づくりに向けた活動

花巻市地域振興課発行「イーハートはなまきへのまちづくり」～日本～の「小さな市役所」を目指して～より

花巻市石鳥谷地区風景



「コミニティ会議の構成について」は、地区内でよく話し合つてメンバーを決めて頂くことが原則です。また、すでに既存の組織がある場合には、それを活用して頂いても構いません。
構成メンバーについて例示すると、次とおりとなります。
(例) 区長、地区公民館長、各種団体の長、PTA等教育関係者などが考えられます。

視察を終えて

平成十八年一月一日、花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の一市三町が合併して、人口約一〇万六千人の新しい「花巻市」が誕生した。

突然の視察にもかかわらず大石市長をはじめ職員の皆様の暖かい様の使いにより地域の人達に紹介され挨拶までさせて頂きました。突然の視察にもかかわらず大石市長をはじめ職員の皆様の暖かい対応に感謝申し上げます。

二区公民館で二十人余の地域の人達と大石市長との意見交換の場に立ち会うことが出来ました。会の解散時には石鳥谷支所の藤井保宏様の挨拶により地域の人達に紹介され挨拶までさせて頂きました。